

時制 基礎

空欄に適する語句を選びなさい。

- The mail came when I [] have breakfast this morning.

(追手門学院大)

- ① was at to [校正用: false]
- ② was going on [校正用: false]
- ③ was about to [校正用: true]
- ④ was toward to [校正用: false]

解答：③

【設問の解説】

「今朝、私が朝食を食べようとしていたとき、郵便が届いた。」

〈be (just) about to + 動詞の原形〉は「(ちょうど) ~しようとしている／(まさに) ~するところだ」という意味で、かなり**近い未来**を表す表現。イディオムとして覚えておこう。同意表現として、〈be on [at] the point of + 動詞のing形〉も覚えておくとうい。

空欄に適する語句を選びなさい。

- I didn't hear him say anything because I [] to music.

(学習院大)

- ① had listened [校正用: false]
- ② have listened [校正用: false]
- ③ listened [校正用: false]
- ④ was listening [校正用: true]

解答：④

【設問の解説】

「私は音楽を聞いていたので、彼が言うことは何も聞こえなかった。」

because は理由を表す接続詞。彼の言うことが聞こえなかった理由としては、「音楽を聞いている最中だったから」と考えられる。**過去のある時点での動作の進行中**を表すときは、**過去進行形**〈**was [were] + 動詞のing形**〉「～していた／～しているところだった」を使う。

①の過去完了はdidn't hear「聞こえなかった」という動作より以前の過去を表すことになるので不適切。②の現在完了はdidn't hearという過去の文と時制が合わない。③は「聞いた」という過去の習慣的な動作を表すので不適切。

空欄に適する語句を選びなさい。

- By the time the police arrived at the scene of the crime, the criminal [] .

(神奈川大)

- ① is leaving [校正用: false]
- ② had left [校正用: true]
- ③ has left [校正用: false]
- ④ was left [校正用: false]

解答：②

【設問の解説】

「警察が犯行現場にくるころには、犯人はもういなくなっていた。」

〈**by the time** + 主語 + 動詞〉は「～するまで〔ころ〕には」という意味。本問は、警察がくるころには「犯人はもういなくなっていた」と考えられる。犯人がいなくなっていたのは、the police arrived「警察がきた」という過去よりも前の出来事であることを確認しておこう。このように、**ある過去の時点よりも前の過去の内容**を表すときは、**過去完了**〈**had + 過去分詞**〉を使って表す。

ただし、「犯人がいなくなり、それから警察がやってきた」のように実際に起きた順に述べるときは、どちらの動作も過去形で表す。

The criminal left , and then the police arrived at the scene of crime.

空欄に適する語句を選びなさい。

- If Nancy [] here tomorrow, would you mind giving this envelope to her?

(近畿大)

- ① came [校正用: false]
- ② come [校正用: false]
- ③ comes [校正用: true]
- ④ had come [校正用: false]

解答：③

【設問の解説】

「もし明日ナンシーがここにきたら、この封筒を彼女にわたしてもらえますか。」

〈 **when** + 主語 + 動詞 〉 「～するとき」 や 〈 **if** + 主語 + 動詞 〉 「もし～なら」 のように **時・条件を表す接続詞のかたまり** のなかでは、未来の内容であっても **現在形** で表すことに注意。

①④は仮定法過去や仮定法過去完了の形だが、ifのかたまりのなかにtomorrowとあるので、現在や過去の現実と反する仮定を表す仮定法は不適切。②は三人称単数の主語Nancyと動詞の形が合わない。

空欄に適する語句を選びなさい。

- It's unusual for Aki to be late. She [] her train.

(白百合女子大)

- ① may have missed [校正用: true]

- ② may have taken [校正用: false]
- ③ may miss [校正用: false]
- ④ may take [校正用: false]

解答：①

【設問の解説】

「アキが遅刻するなんてめずらしい。彼女は電車に乗り遅れたのかもしれない。」

助動詞 **may** は「～してもよい」という意味のほかに、「～かもしれない」という現在や未来への推量を表すことができる。このあとに完了形をつづけて〈**may have + 過去分詞**〉という形にすると「～だったかもしれない」のように**過去の内容への推量**を表すことができる。miss「乗り遅れる」→ may miss「乗り遅れるかもしれない」→ may have missed「乗り遅れたかもしれない」という意味になる。

②「乗ったかもしれない」 ④「乗るかもしれない」

空欄に適する語句を選びなさい。

- Dad [] dinner when I got home from work.

(阪南大)

- ① is cooking [校正用: false]
- ② cooks [校正用: false]
- ③ was cooking [校正用: true]
- ④ has cooked [校正用: false]

解答：③

【設問の解説】

「私が仕事から帰宅したとき、パパは夕食をつくっていた。」

when は時を表す接続詞。私が帰宅したとき、「パパは夕食をつくっている最中だった」と考えられる。**過去のある時点での動作の進行中**を表すときは、**過去進行形**〈**was [were] + 動詞のing形**〉「～していた／～し

ているところだった」を使う。①②④は、過去のある時点を表す when I got home～ のかたまりと時制が合わない。

空欄に適する語句を選びなさい。

- If we [] enough time, we will take the train with her.

(阪南大)

- ① have [校正用: true]
- ② spent [校正用: false]
- ③ had [校正用: false]
- ④ keep [校正用: false]

解答：①

【設問の解説】

「もし私たちに十分な時間があれば、彼女といっしょに電車に乗るつもりだ。」

〈 when + 主語 + 動詞〉「～するとき」や〈 if + 主語 + 動詞〉「もし～なら」のように **時・条件を表す接続詞のかたまり** のなかでは、未来の内容であっても **現在形** で表すことに注意。文意から、「十分な時間がある」のも「彼女と電車に乗る」のも、どちらも未来の内容なので、②③のような過去形は不適切。④は文意が通らない。

have time 「時間がある」 spend time 「時間を過ごす」 keep time 「時間を記録する／（時計が）正確に時を刻む」

空欄に適する語句を選びなさい。

- I don't know how long [] asleep.

(藤女子大)

- ① am I [校正用: false]
- ② have I been [校正用: false]
- ③ I am [校正用: false]

- ④ I have been [校正用: true]

解答：④

【設問の解説】

「どれくらい眠っていたのかわからない。」
過去形はたんに過去の事実を述べているだけで、現在とはつながりをもたないのに対し、現在完了は **過去のある時点から現在へのつながり** があることを表す。本問の「どれくらい眠っていたのか」という表現は、過去のある時点で眠りに入り、眠っている状態が目を通しました今までつづいていたという内容になる。したがって、「どれくらい（今までずっと）眠っていたのか」は **現在完了** 〈have + 過去分詞〉を使って表す。

how long以降は、もとはHow long have I been asleep? という現在完了の疑問文。本問では、I don't knowのあとにつづく間接疑問なので、疑問詞how longのあとは疑問文の語順ではなく、肯定文と同じI have beenという語順になる。

①③は現在形なので「今、眠っている状態」を表す。

空欄に適する語句を選びなさい。

- [] under 18, permission from your parents is required.

(松山大)

- ① If you are [校正用: true]
- ② If you have been [校正用: false]
- ③ When you became [校正用: false]
- ④ When you were [校正用: false]

解答：①

【設問の解説】

「もしあなたが18歳未満なら、保護者の許可が必要です。」

〈if + 主語 + 動詞〉「もし～なら」は条件を表す表現。本問は、「（今）18歳未満なら、

保護者の許可が必要だ」という単純に **現在の条件** を表す内容なので、動詞は現在形を使う。

②は「あなたが（ある過去の時点から）ずっと18歳であるなら」という不自然な意味になり、文意が成り立たない。③④は、文の後半の「今、許可が必要だ」という内容と時制が合わない。

空欄に適する語句を選びなさい。

- At this time tomorrow, I [] to Paris.

（立命館大）

- ① had been traveling [校正用: false]
- ② have traveled [校正用: false]
- ③ traveled [校正用: false]
- ④ will be traveling [校正用: true]

解答：④

【設問の解説】

「明日の今ごろ、私はパリへ移動しているところだろう。」

文頭のAt this time tomorrowに注目。「明日の今ごろ〔この時間〕」という意味で未来のある時点を表す語句であることを確認しよう。

未来のある時点での動作の進行中を表すときは **未来進行形** 〈will be + 動詞のing形〉

「～しているところだろう」を使う。

①③は過去形・過去完了（進行形）の形なので未来の内容を表せない。②の現在完了は、過去のある時点から現在につながる内容を表すので、未来の内容を表せない。

空欄に適する語句を選びなさい。

- I will wait here for Momoko until she [] back.

(南山大)

- ① is coming [校正用: false]
- ② came [校正用: false]
- ③ comes [校正用: true]
- ④ will come [校正用: false]

解答：③

【設問の解説】

「モモコが戻ってくるまで、私はここで待っています。」

〈until + 主語 + 動詞〉は「～するまで」という意味。〈when + 主語 + 動詞〉「～するとき」や〈if + 主語 + 動詞〉「もし～なら」と同じように、**時・条件を表す接続詞のかたまり**なので、このかたまりのなかでは、未来の内容であっても**現在形**で表す。モモコが戻ってくるのは、これから先の未来の内容であることを確認しておこう。

①の現在進行形は進行中の動作を表す以外に、確定的な未来を表す用法があるが、④と同様、未来の内容であればuntil ～のかたまりのなかでは現在形で表すので不適切。②の過去形は未来の内容と時制が合わない。

ここに参考書リンクが入ります